

## 教育・学習環境整備

学力向上による自信  
「生き抜く力」の獲得  
いじめ、不登校、犯罪の防止  
貧困の連鎖の防止

教育

社会保障



申込用紙  
食材提供サービス  
仙台[タダゼミ]や[ガチゼミ]に  
参加する世帯へ定期的に提供

+ ICTスキルアップ等の  
キャリア教育

ICTリテラシーの向上  
英会話力の向上  
異文化の理解・受容

+ 食材提供 (間接的  
家計支援) 、家計支援  
OJT/中間就労、就業支援

生活資金のつなぎ  
次の就職へのつなぎ  
コミュニティのつなぎ  
教育資金準備

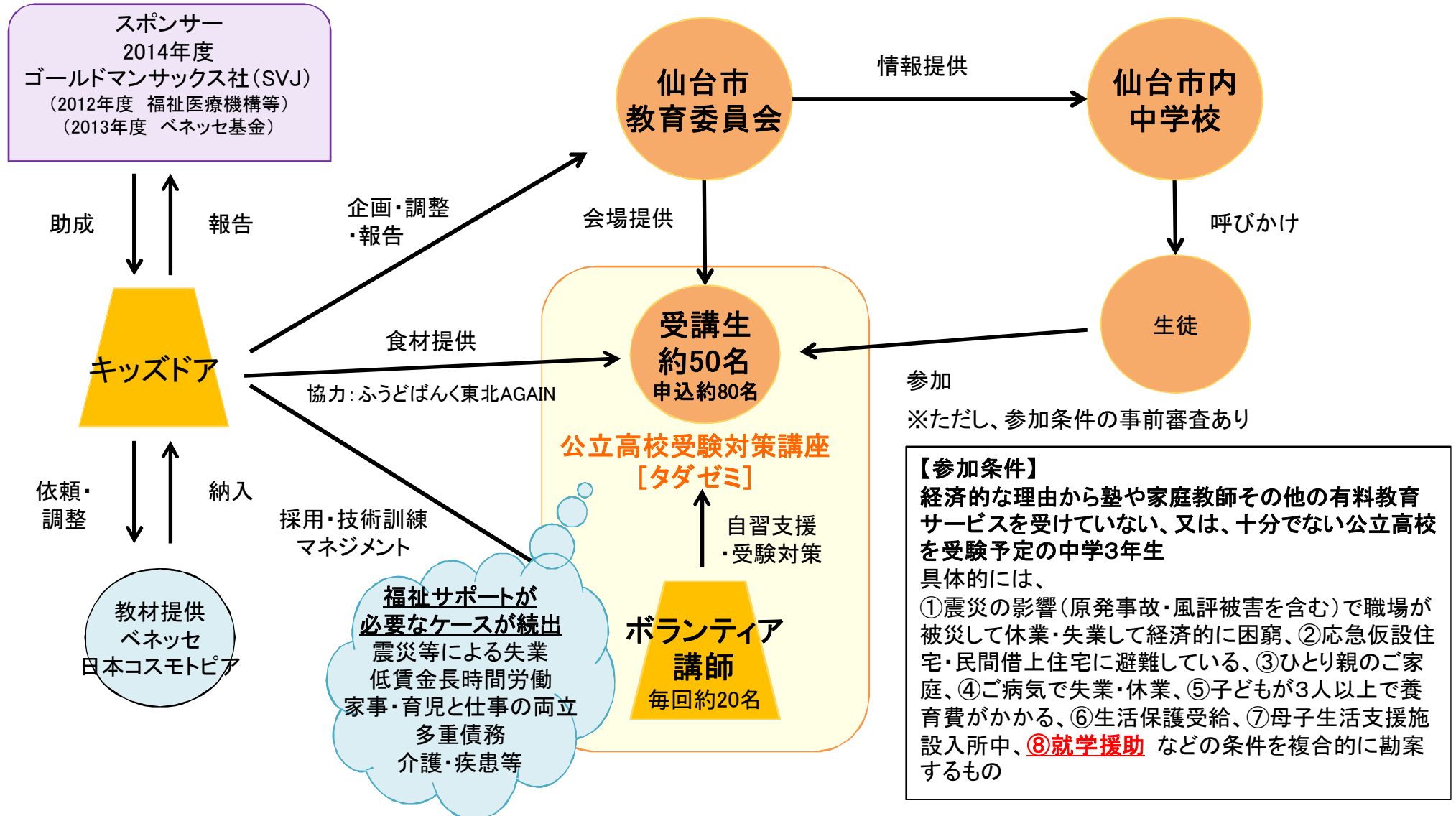
産業・経済



# (実施事例)

## 震災で困難を抱える中3生向け無料の公立高校受験対策講座

仙台市教育委員会共催の学習支援事業



## ■3つの形式で学習補助

学習内容に応じて、学習形式を替えて実施しています。なお、集団授業の際も、ボランティア等が隣に座る等して、ノートが取れているかを確認したり、理解が追いついていないようであれば助言します。

### 個別指導(主に、数学・英語)



### 集団授業(社会、テスト等)



### グループワーク(国語等)



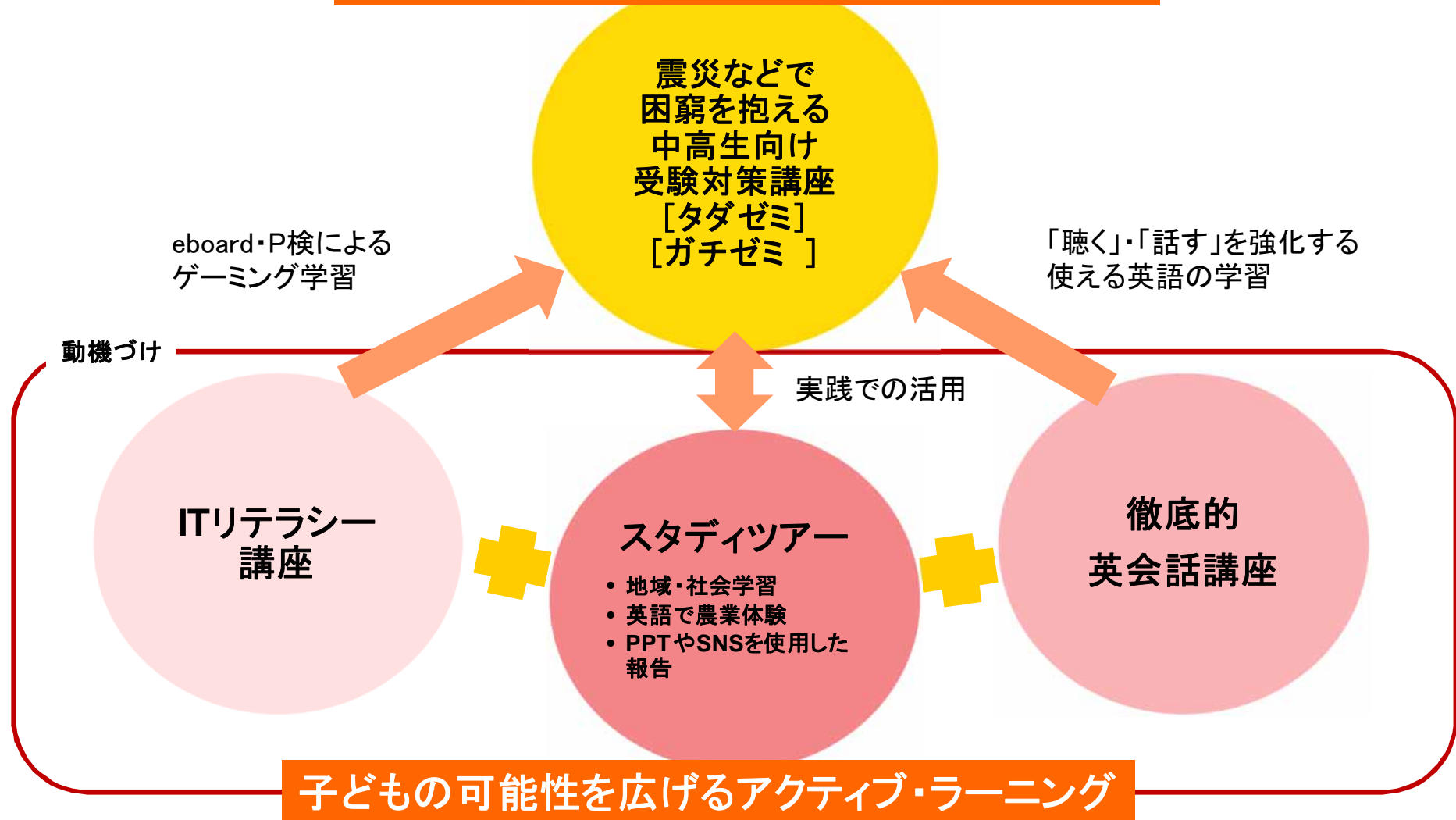
## ■必ず学習計画を立てて、進捗を確認する

生徒の得意・不得意を確認テストで把握したうえで、学校の宿題や部活、学校行事、家事手伝い等の予定を確認しながら、どの時間に何の勉強をするのか予定を埋めていきます。

次回参加した時には、予定通りできたかの自己チェックと共に、何が問題で、次はどうかを、講師と一緒に考えて予定を組みます。



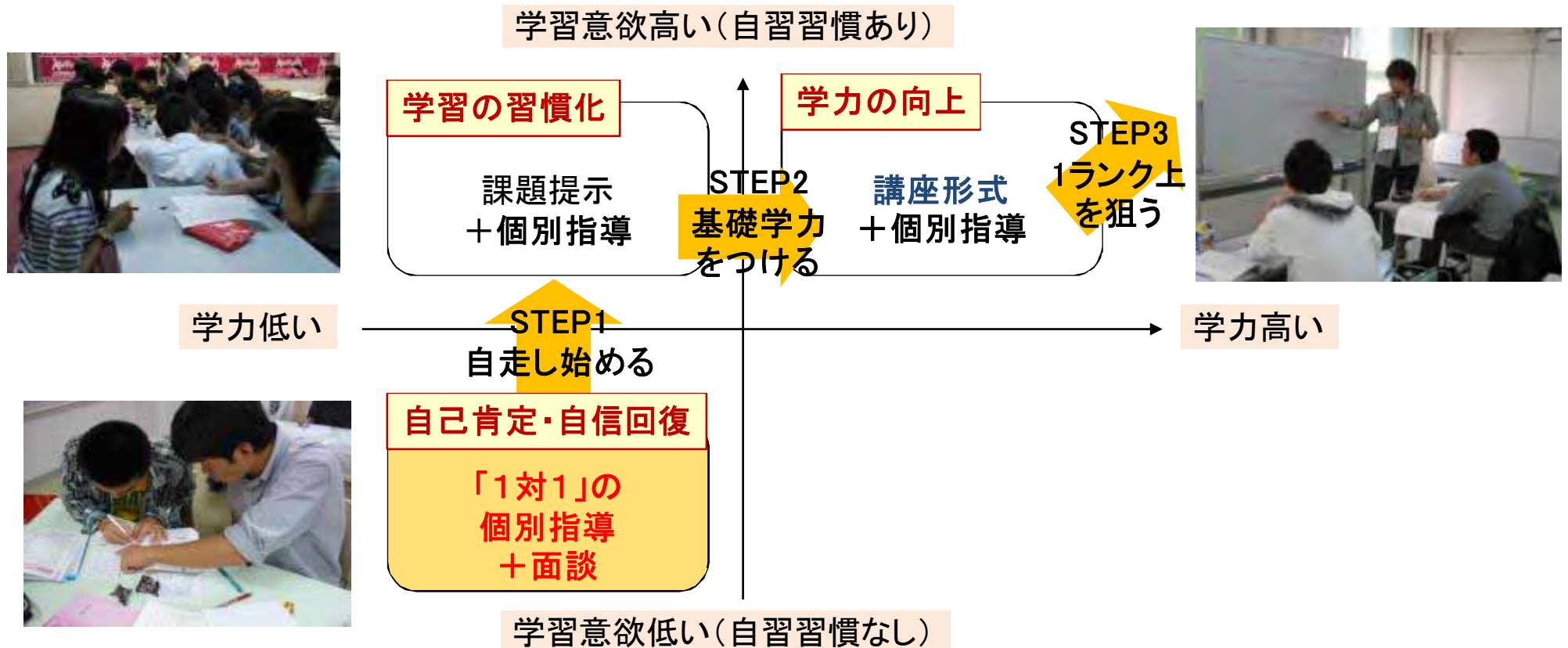
## 第一志望校合格で、次のステップへ



## 【ご参考】学習補助の形式

### 生徒に合わせた学習補助

- STEP1: 学力が低く、学習意欲の低い生徒には、分からなくて諦めていたところを、時間をかけて分かるまでじっくり教え、分かったら褒めます。1つ分かるようになれば、自信につながり、自らやり始めます。
- STEP2: 自分のペースがつかめるまで、学習計画を一緒に作り、次のゼミまでの間、自分で取り組んでみます。必要に応じて改善しながら、自学自習のスキルを身につけていきます。
- STEP3: ①話を聞き、②ノートを取り、③理解するよう考える、④分からないところを質問する、という能力を身につけることで、学校の授業時間内に得られる知識を多くできるよう訓練する



## 【ご参考】徹底的英会話訓練講座「Tohoku Global Cafe」

- 震災等で困難を抱える中高生が、将来、英語を使って地域復興に貢献できるように徹底的に英語力をつける短期集中講座を企画・実施しています。
- 料理をしながら、スポーツしながら、工作しながら英語を使いこみます (English Only) 講師は東北大学の優秀な留学生達。徹底的に英会話のトレーニングをします。講座の中では入試に良く出る会話文も使いますし、英検等の対策にも役立つものにしました。



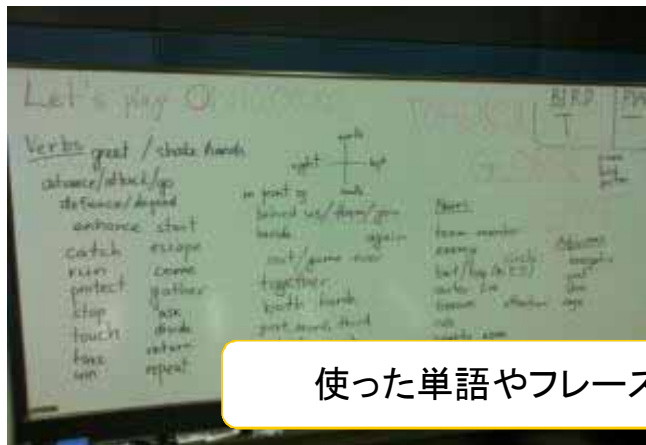
料理をしながら



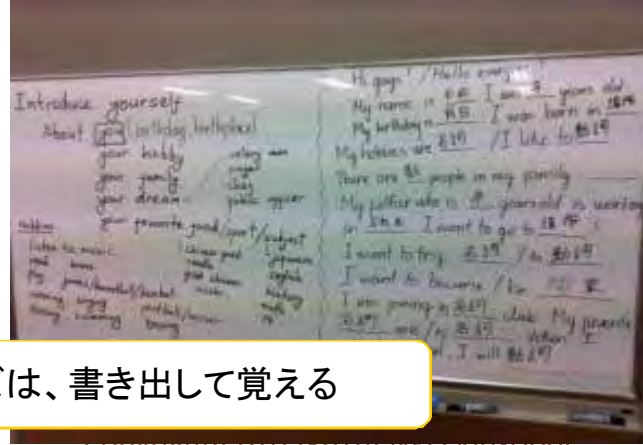
スポーツしながら



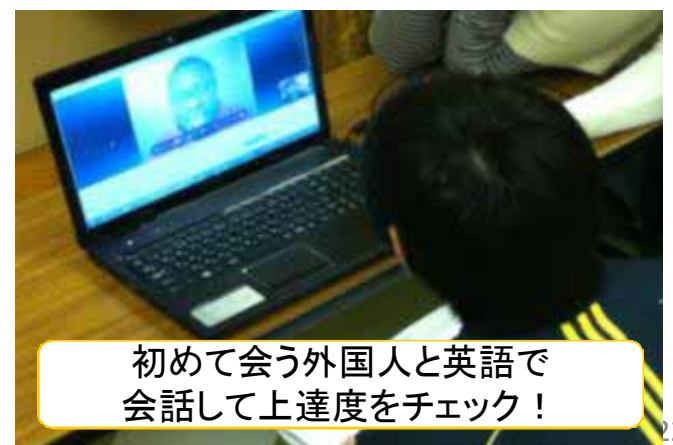
クロスワードパズルしながら



使った単語やフレーズは、書き出して覚える



初めて会う外国人と英語で会話して上達度をチェック!



■ 目的：「生き抜く力」を考えるきっかけづくり

エンジニアの仕事「見えない言語でモノを動かす」体験を通して、将来キャリアを考えるきっかけをつくる。仕事をする上で重要なコミュニケーションを通じたチームワークについても考えるきっかけとする。

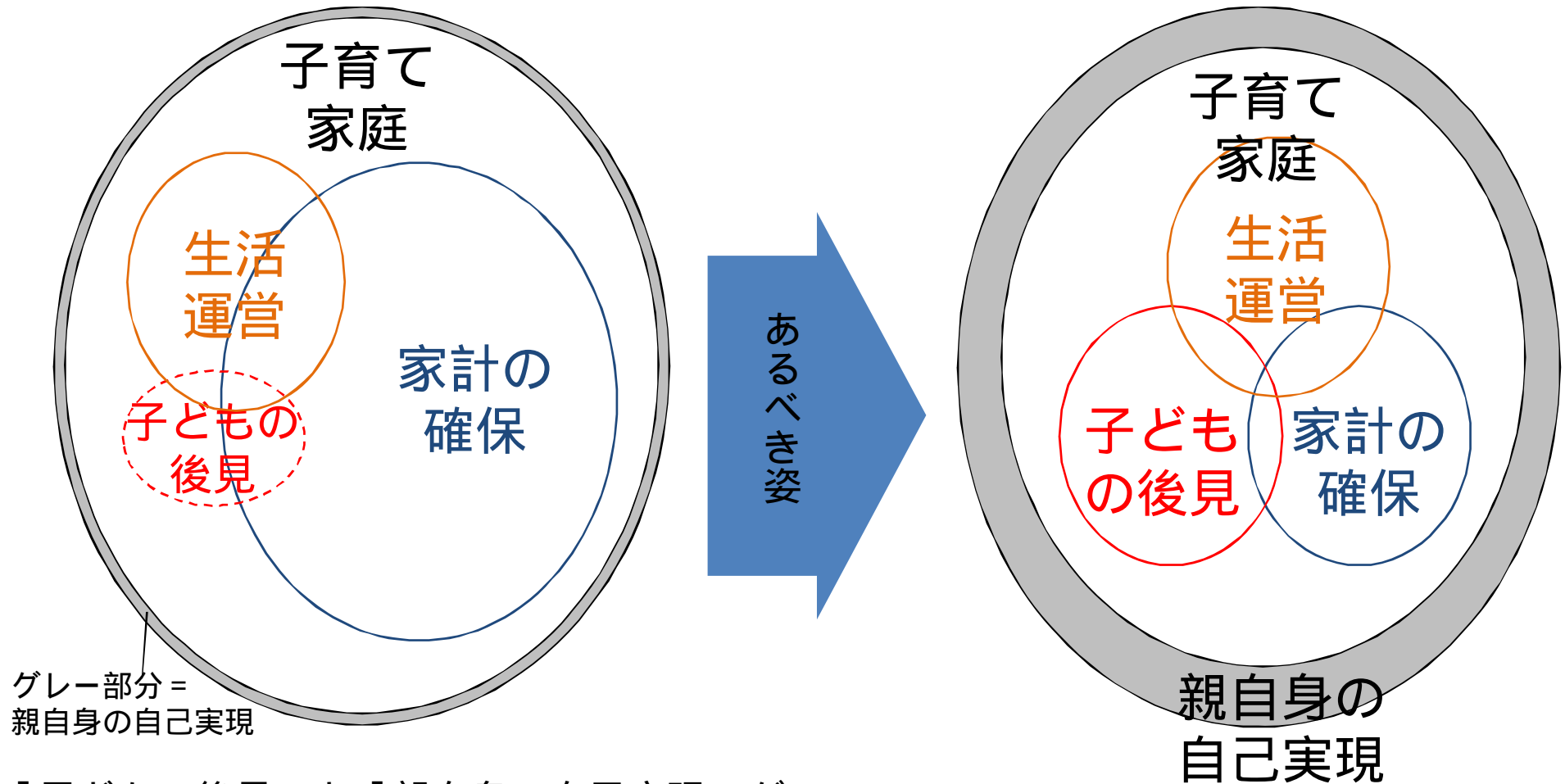
■ 実施内容

レゴ自動車ロボットを動かすプログラミング  
「ROBOLABO」

■ 時間： 4時間半

- 13:00-13:10 自己紹介
- 13:10-13:25 将来の仕事とエンジニア
- 13:25-14:10 ロボットを組み立てて命令しよう
- 14:10-14:15 休憩
- 14:15-17:00 ロボットを動かしてみよう
- 17:00-17:20 グループディスカッション・発表
- 17:20-17:30 片付け





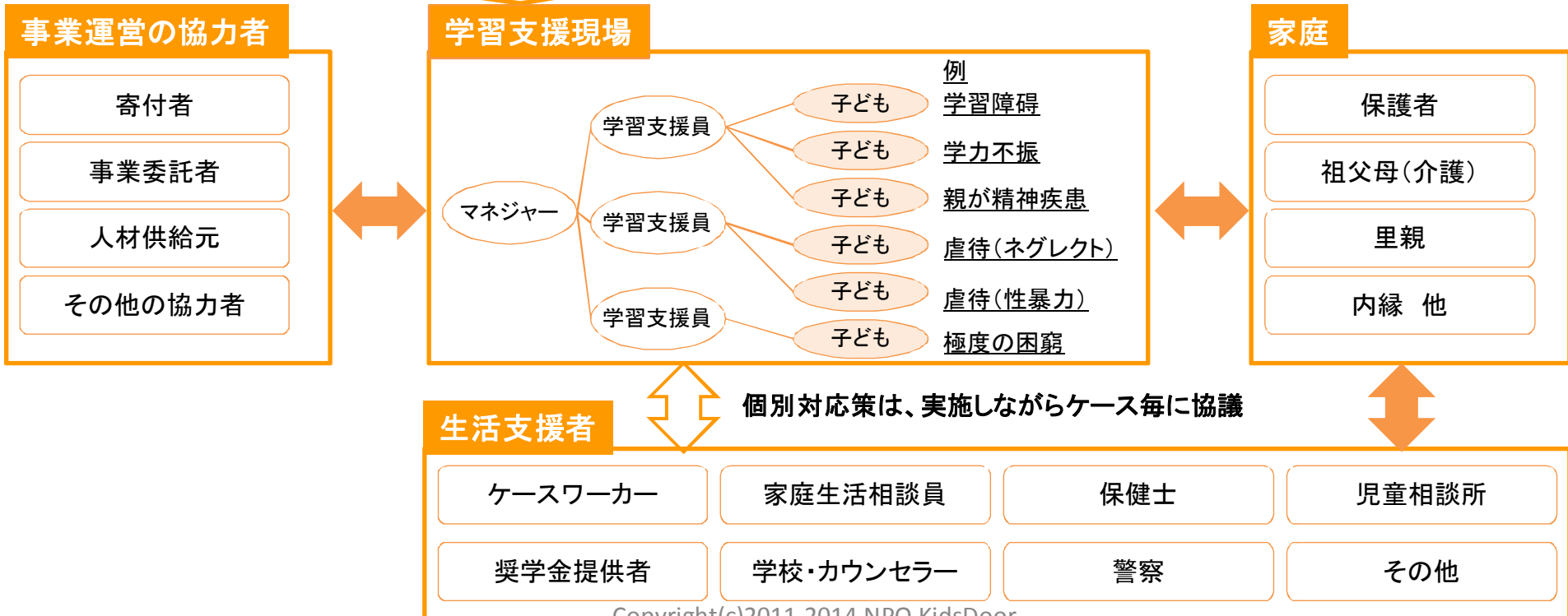
「子どもの後見」と「親自身の自己実現」が、「家計の確保」と「生活運営」の犠牲になり、苦しい。

出典：森田明美(東洋大学社会学部)「学習支援現場から見える子どもの課題と先進事例の紹介」(2014.3.24、仙台)



# 【ご参考】課題解決のために関係機関と連携強化を実施中

学習支援を行う中では、子ども自身の課題の他、家庭の問題にも直面するため、関係機関との連携が必要。さらに、前提となる日々の情報収集・記録、並びに、適切な対応のために学習支援スタッフの研修が必要である。



# 【ご参考】子どもを中心とした困窮家庭への生活支援ネットワーク化事業

(仙台市市民協働事業提案制度、2013)

実施前

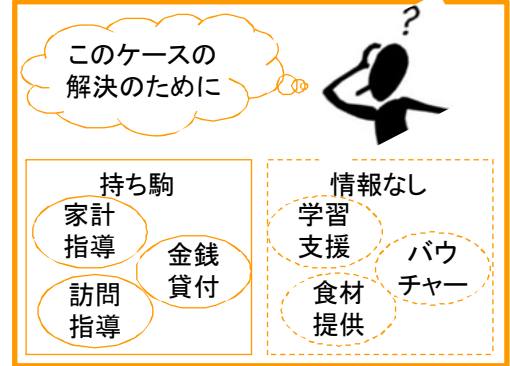
どの団体が、どこで、何をやっているかが不明

	活動場所	サービス	特徴	連絡先	...
キッズドア					
アスイク					
POSSE					
わたげの会					
チャンス・フォー・チルドレン					
宮城教育大学					
せんだい					
若者サポステ					
ジョブカフェ					
...					

サービスがあるがバラバラで各所に課題あり



現場のケースのつなぎ先が限定的



事業プロセス



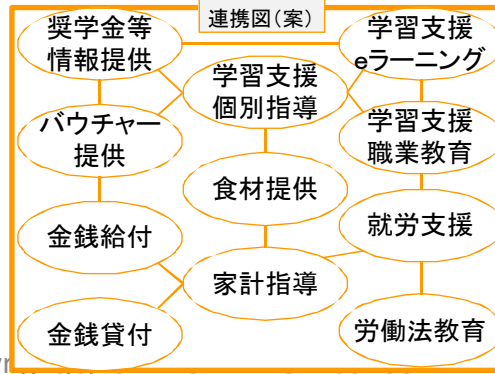
実施後

団体毎のサービスと強み弱みを把握

	活動場所	サービス	特徴	連絡先	...
キッズドア					
アスイク					
POSSE					
わたげの会					
チャンス・フォー・チルドレン					
宮城教育大学					
せんだい					
若者サポステ					
ジョブカフェ					
...					

各団体等が把握できている状態

各サービスの強みを生かした連携が可能に



現場のケースに応じた解決策を選択できる

